

9-6 沖縄地方とその周辺の地震活動（2003年5月～2003年10月）

Recent Seismic Activity in and around the Okinawa District (May, 2003 – October, 2003)

気象庁・沖縄気象台

Okinawa District Meteorological Observatory, JMA

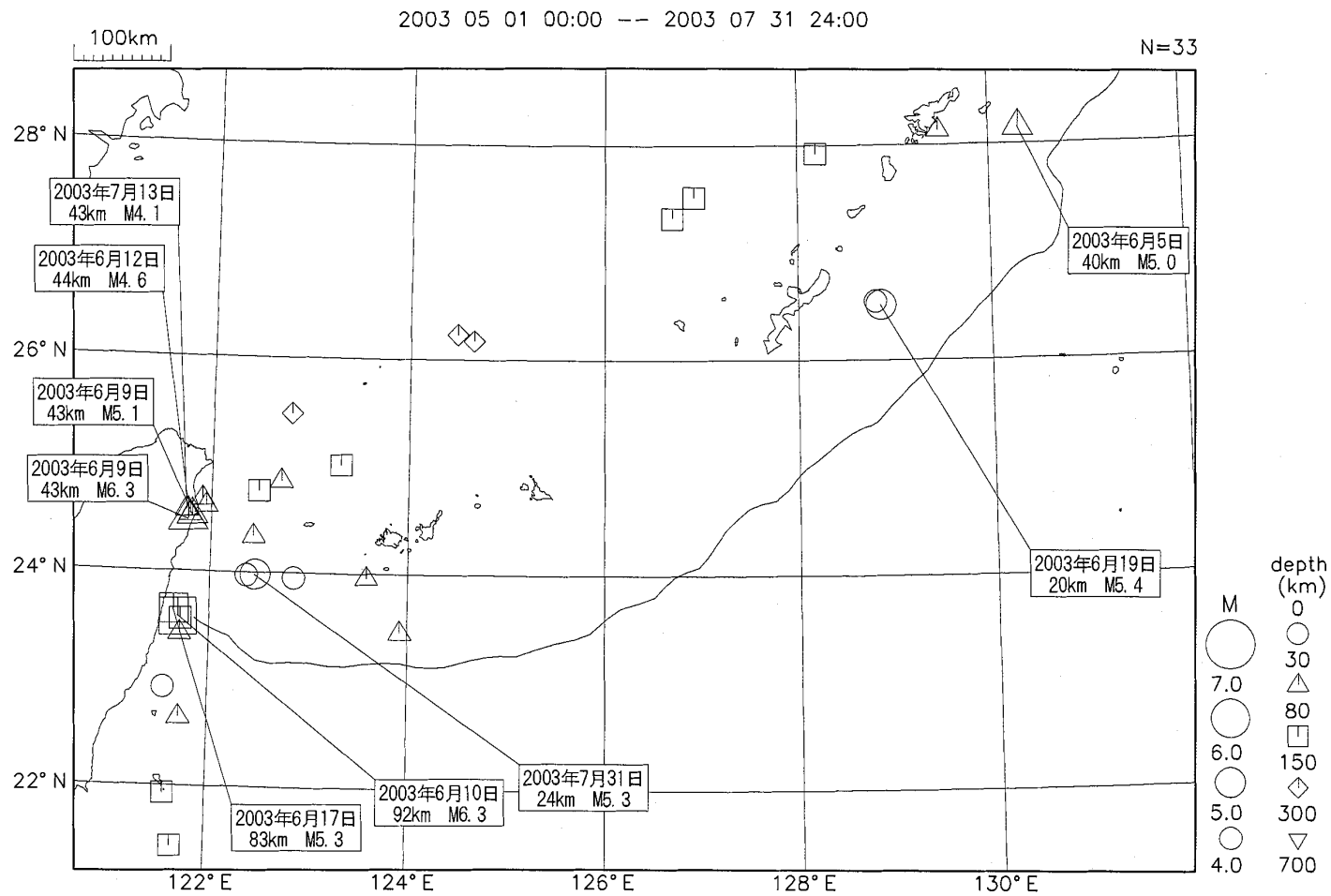
今期間、沖縄地方とその周辺でM4.0以上の地震は57回、M5.0以上は9回、M6.0以上は2回発生した。このうち最大の地震は、2003年6月に台湾付近で2回発生したM6.3の地震であった。2003年5月～10月の震央分布図を第1図に、主な地震の発震機構を第2図に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 台湾付近の地震活動（M6.3，最大震度2）

2003年6月9日（国内最大震度1，深さ43km），2003年6月10日（国内最大震度2，深さ92km）にそれぞれM6.3の地震が発生した。これらの地震の発震機構は、ともに西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この地域の広域応力場と調和的である。

沖縄地方とその周辺の地震活動 (2003年5月～7月、 $M \geq 4.0$)

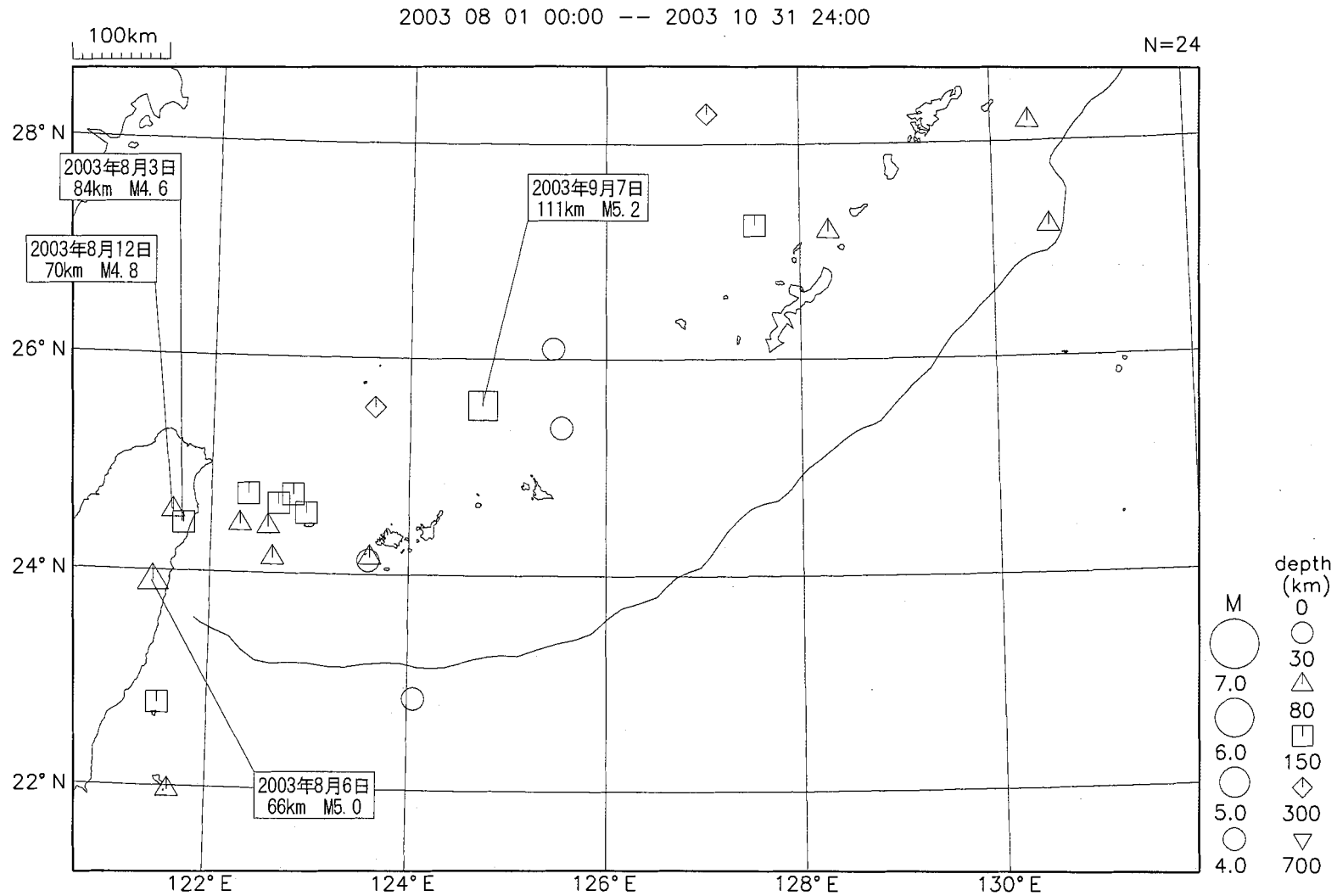


図中の吹き出しは、陸域M4以上、海域M5以上

第1図(a) 沖縄地方とその周辺の地震活動 (2003年5月～7月、 $M \geq 4.0$)

Fig.1(a) Seismic Activity in and around the Okinawa district (May, 2003 - July, 2003, $M \geq 4.0$) .

沖縄地方とその周辺の地震活動 (2003年8月~10月、 $M \geq 4.0$)

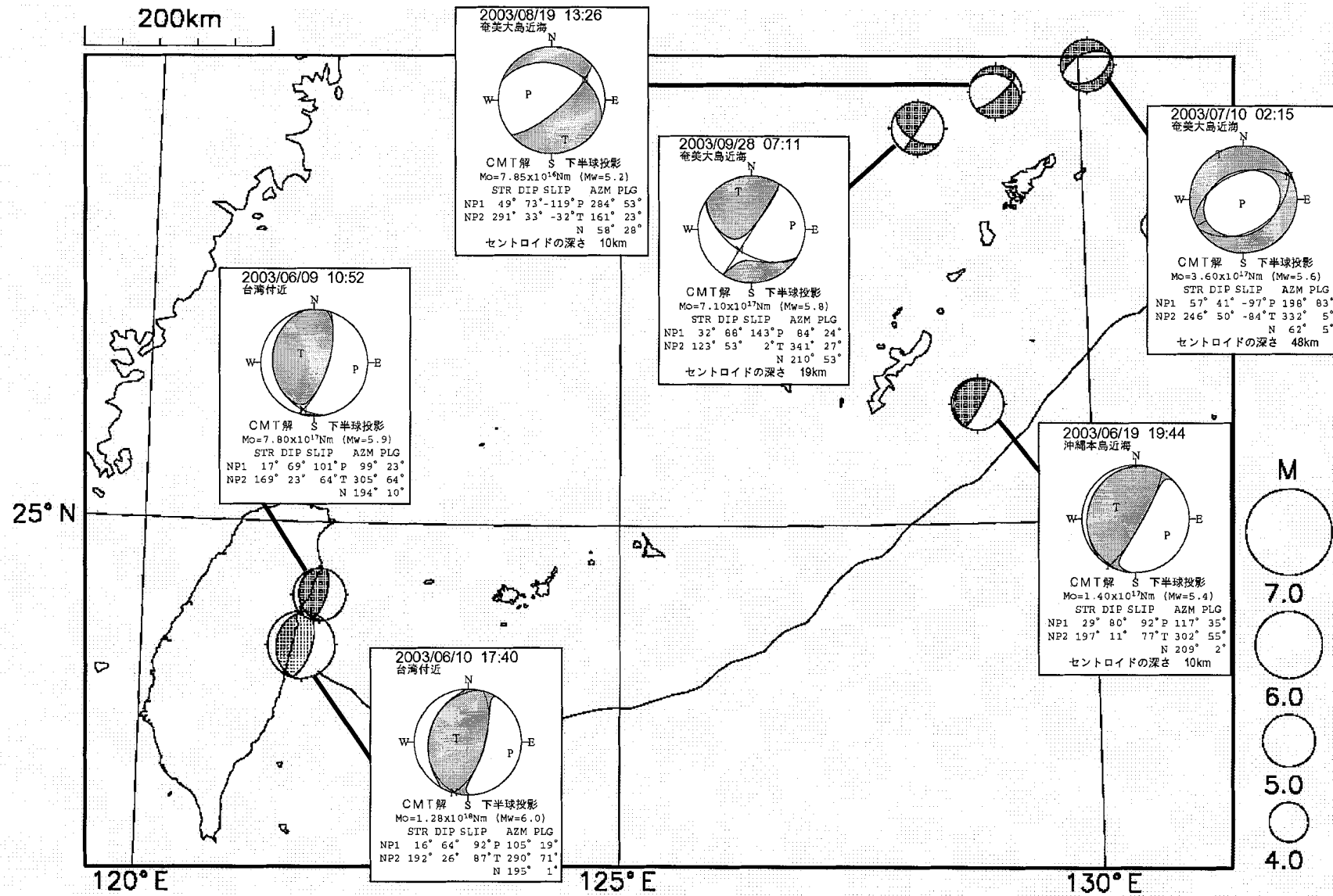


図中の吹き出しは、陸域M 4以上・海域M 5以上

第1図(b) つづき (2003年8月-10月, $M \geq 4.0$)

Fig.1(b) continued(August, 2003 - October, 2003, $M \geq 4.0$).

沖縄地方とその周辺の発震機構 (CMT解、2003年5月~10月)



第2図 沖縄地方とその周辺の発震機構 (CMT解、2003年5月-10月)

Fig.2 Focal mechanism in and around the Okinawa district (CMT, May, 2003 - October, 2003).